

## 交付図書の訂正について

令和4年6月29日付けで入札公告を行った「東北自動車道 加須管内舗装補修工事」において、交付図書に誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、訂正した交付図書は、競争参加資格者に送付いたします。

平成4年9月30日

契約責任者

東日本高速道路株式会社 関東支社  
支社長 千田 洋一

### 【訂正内容】

- ・特記仕様書

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください。

東北自動車道  
加須管内舗装補修工事

交付図書正誤表

東日本高速道路株式会社 関東支社  
加須管理事務所

修正箇所	特記仕様書 21. 工事細部に関する事項 21-5-4 アスファルト改良工「材料及び基準」 基層用遮水性アスファルト混合物標準アスファルト量の訂正																																																																											
誤	<p>表記変更箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>アスファルト混合物の種類</th> <th>アスファルトの種類</th> <th>標準アスファルト量</th> <th>骨材の配合設計粒度</th> <th>供試体の突固回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切削オーバーレイ工 A (t = 10 cm)</td> <td>高機能舗装I型用混合物(表層)</td> <td>高粘度改質アスファルト(一般用)</td> <td>4.8%</td> <td>最大粒径13mm</td> <td>両面各50回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基層用遮水性アスファルト混合物(基層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.3%</td> <td>最大粒径20mm</td> <td>両面各75回</td> </tr> <tr> <td>切削オーバーレイ工 B (t = 4 cm)</td> <td>高機能舗装II型用混合物(表層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.3%</td> <td>最大粒径13mm</td> <td>両面各50回</td> </tr> <tr> <td>切削オーバーレイ工 B (t = 10 cm)</td> <td>高機能舗装II型用混合物(表層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.3%</td> <td>最大粒径13mm</td> <td>両面各50回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基層用遮水性アスファルト混合物(基層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.3%</td> <td>最大粒径20mm</td> <td>両面各75回</td> </tr> <tr> <td>切削オーバーレイ工 D (t = 28 cm)</td> <td>基層用遮水性アスファルト混合物(基層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.3%</td> <td>最大粒径20mm</td> <td>両面各75回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アスファルト安定処理路盤(上層路盤) 60-80</td> <td>ストレートアスファルト</td> <td>4.2%</td> <td>最大粒径40mm</td> <td>両面各50回</td> </tr> <tr> <td>部分開削工 A</td> <td>基層用遮水性アスファルト混合物(基層・表層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.3%</td> <td>最大粒径20mm</td> <td>両面各75回</td> </tr> <tr> <td>レベリング工 A</td> <td>レベリング層用混合物 FB 1 3(基層)</td> <td>改質アスファルト</td> <td>6.2%</td> <td>最大粒径13mm</td> <td>両面各50回</td> </tr> <tr> <td>レベリング工 B</td> <td>基層用遮水性アスファルト混合物(基層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.3%</td> <td>最大粒径20mm</td> <td>両面各75回</td> </tr> </tbody> </table>										単価表の項目	アスファルト混合物の種類	アスファルトの種類	標準アスファルト量	骨材の配合設計粒度	供試体の突固回数	切削オーバーレイ工 A (t = 10 cm)	高機能舗装I型用混合物(表層)	高粘度改質アスファルト(一般用)	4.8%	最大粒径13mm	両面各50回		基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径20mm	両面各75回	切削オーバーレイ工 B (t = 4 cm)	高機能舗装II型用混合物(表層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径13mm	両面各50回	切削オーバーレイ工 B (t = 10 cm)	高機能舗装II型用混合物(表層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径13mm	両面各50回		基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径20mm	両面各75回	切削オーバーレイ工 D (t = 28 cm)	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径20mm	両面各75回		アスファルト安定処理路盤(上層路盤) 60-80	ストレートアスファルト	4.2%	最大粒径40mm	両面各50回	部分開削工 A	基層用遮水性アスファルト混合物(基層・表層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径20mm	両面各75回	レベリング工 A	レベリング層用混合物 FB 1 3(基層)	改質アスファルト	6.2%	最大粒径13mm	両面各50回	レベリング工 B	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径20mm	両面各75回
単価表の項目	アスファルト混合物の種類	アスファルトの種類	標準アスファルト量	骨材の配合設計粒度	供試体の突固回数																																																																							
切削オーバーレイ工 A (t = 10 cm)	高機能舗装I型用混合物(表層)	高粘度改質アスファルト(一般用)	4.8%	最大粒径13mm	両面各50回																																																																							
	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径20mm	両面各75回																																																																							
切削オーバーレイ工 B (t = 4 cm)	高機能舗装II型用混合物(表層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径13mm	両面各50回																																																																							
切削オーバーレイ工 B (t = 10 cm)	高機能舗装II型用混合物(表層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径13mm	両面各50回																																																																							
	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径20mm	両面各75回																																																																							
切削オーバーレイ工 D (t = 28 cm)	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径20mm	両面各75回																																																																							
	アスファルト安定処理路盤(上層路盤) 60-80	ストレートアスファルト	4.2%	最大粒径40mm	両面各50回																																																																							
部分開削工 A	基層用遮水性アスファルト混合物(基層・表層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径20mm	両面各75回																																																																							
レベリング工 A	レベリング層用混合物 FB 1 3(基層)	改質アスファルト	6.2%	最大粒径13mm	両面各50回																																																																							
レベリング工 B	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径20mm	両面各75回																																																																							
正	<p>表記変更箇所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>アスファルト混合物の種類</th> <th>アスファルトの種類</th> <th>標準アスファルト量</th> <th>骨材の配合設計粒度</th> <th>供試体の突固回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切削オーバーレイ工 A (t = 10 cm)</td> <td>高機能舗装I型用混合物(表層)</td> <td>高粘度改質アスファルト(一般用)</td> <td>4.8%</td> <td>最大粒径13mm</td> <td>両面各50回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基層用遮水性アスファルト混合物(基層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.1%</td> <td>最大粒径20mm</td> <td>両面各75回</td> </tr> <tr> <td>切削オーバーレイ工 B (t = 4 cm)</td> <td>高機能舗装II型用混合物(表層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.3%</td> <td>最大粒径13mm</td> <td>両面各50回</td> </tr> <tr> <td>切削オーバーレイ工 B (t = 10 cm)</td> <td>高機能舗装II型用混合物(表層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.3%</td> <td>最大粒径13mm</td> <td>両面各50回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基層用遮水性アスファルト混合物(基層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.1%</td> <td>最大粒径20mm</td> <td>両面各75回</td> </tr> <tr> <td>切削オーバーレイ工 D (t = 28 cm)</td> <td>基層用遮水性アスファルト混合物(基層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.1%</td> <td>最大粒径20mm</td> <td>両面各75回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アスファルト安定処理路盤(上層路盤) 60-80</td> <td>ストレートアスファルト</td> <td>4.2%</td> <td>最大粒径40mm</td> <td>両面各50回</td> </tr> <tr> <td>部分開削工 A</td> <td>基層用遮水性アスファルト混合物(基層・表層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.1%</td> <td>最大粒径20mm</td> <td>両面各75回</td> </tr> <tr> <td>レベリング工 A</td> <td>レベリング層用混合物 FB 1 3(基層)</td> <td>改質アスファルト</td> <td>6.2%</td> <td>最大粒径13mm</td> <td>両面各50回</td> </tr> <tr> <td>レベリング工 B</td> <td>基層用遮水性アスファルト混合物(基層)</td> <td>改質アスファルト(一般用)</td> <td>5.1%</td> <td>最大粒径20mm</td> <td>両面各75回</td> </tr> </tbody> </table>										単価表の項目	アスファルト混合物の種類	アスファルトの種類	標準アスファルト量	骨材の配合設計粒度	供試体の突固回数	切削オーバーレイ工 A (t = 10 cm)	高機能舗装I型用混合物(表層)	高粘度改質アスファルト(一般用)	4.8%	最大粒径13mm	両面各50回		基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.1%	最大粒径20mm	両面各75回	切削オーバーレイ工 B (t = 4 cm)	高機能舗装II型用混合物(表層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径13mm	両面各50回	切削オーバーレイ工 B (t = 10 cm)	高機能舗装II型用混合物(表層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径13mm	両面各50回		基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.1%	最大粒径20mm	両面各75回	切削オーバーレイ工 D (t = 28 cm)	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.1%	最大粒径20mm	両面各75回		アスファルト安定処理路盤(上層路盤) 60-80	ストレートアスファルト	4.2%	最大粒径40mm	両面各50回	部分開削工 A	基層用遮水性アスファルト混合物(基層・表層)	改質アスファルト(一般用)	5.1%	最大粒径20mm	両面各75回	レベリング工 A	レベリング層用混合物 FB 1 3(基層)	改質アスファルト	6.2%	最大粒径13mm	両面各50回	レベリング工 B	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.1%	最大粒径20mm	両面各75回
単価表の項目	アスファルト混合物の種類	アスファルトの種類	標準アスファルト量	骨材の配合設計粒度	供試体の突固回数																																																																							
切削オーバーレイ工 A (t = 10 cm)	高機能舗装I型用混合物(表層)	高粘度改質アスファルト(一般用)	4.8%	最大粒径13mm	両面各50回																																																																							
	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.1%	最大粒径20mm	両面各75回																																																																							
切削オーバーレイ工 B (t = 4 cm)	高機能舗装II型用混合物(表層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径13mm	両面各50回																																																																							
切削オーバーレイ工 B (t = 10 cm)	高機能舗装II型用混合物(表層)	改質アスファルト(一般用)	5.3%	最大粒径13mm	両面各50回																																																																							
	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.1%	最大粒径20mm	両面各75回																																																																							
切削オーバーレイ工 D (t = 28 cm)	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.1%	最大粒径20mm	両面各75回																																																																							
	アスファルト安定処理路盤(上層路盤) 60-80	ストレートアスファルト	4.2%	最大粒径40mm	両面各50回																																																																							
部分開削工 A	基層用遮水性アスファルト混合物(基層・表層)	改質アスファルト(一般用)	5.1%	最大粒径20mm	両面各75回																																																																							
レベリング工 A	レベリング層用混合物 FB 1 3(基層)	改質アスファルト	6.2%	最大粒径13mm	両面各50回																																																																							
レベリング工 B	基層用遮水性アスファルト混合物(基層)	改質アスファルト(一般用)	5.1%	最大粒径20mm	両面各75回																																																																							

## (2) 基層用遮水性アスファルト混合物

### 1) 骨材の粒度

基層用遮水性アスファルト混合物に使用する混合物の骨材の配合設計粒度は、表-1のとおりとする。なお、使用する骨材の密度が0.2 g/cm<sup>3</sup>以上異なる場合には配合比の修正を行う。

## (2) 基層用遮水性アスファルト混合物

### 1) 骨材の粒度

基層用遮水性アスファルト混合物に使用する混合物の骨材の配合設計粒度は、表-1のとおりとする。なお、使用する骨材の密度が0.2 g/cm<sup>3</sup>以上異なる場合には配合比の修正を行う。